

株式会社 HACARUS

所在地 京都府京都市中京区高宮町 206
御池ビル 8 階
事業内容 AI ソフトウェア開発

独自 AI 技術を活用したソフトウェア開発

HACARUS は、少量のデータでも高い精度を発揮できる軽量・高性能な AI 技術を活用し、外観検査・安全管理・生成 AI 活用など、産業現場の課題解決に特化したソリューションを展開している。

沿革

◆ 代表者の経歴

【代表取締役 CEO 染田 貴志氏】



2024 年より代表取締役 CEO に就任。産業領域における AI 活用の高度化とプロダクト事業の拡大を主導し、外観検査・安全管理・GenAI・共同開発の 4 事業を核とした成長戦略を推進している。顧客の現場課題に寄り添う技術開発と、産業 DX の実装力強化を重点方針としている。

◆ 事業の背景

HACARUS は創業以来、産業の“はかる”を進化させることを軸とし、少量のデータでも精度を発揮する AI 技術を産業現場へ実装してきた。製造業では人手不足や技能継承、検査工程の品質ばらつきが長年の課題であり、建設・インフラ領域では労働災害や安全管理の高度化が求められている。こうした社会的ニーズに応えるた

め、外観検査 AI、現場支援 AI、生成 AI 導入支援など、現場の負荷を軽減し業務を高度化するソリューションを多数開発している。

◆ 事業にかける思い

HACARUS のミッションは「未来を造る人に 次世代の『はかる』を」。

少量データで高精度に動作する AI によって、属人化した熟練技術や現場知見をデジタル化し、産業の品質向上・効率化・安全性向上を実現する。特に、従来のディープラーニングでは難しい“データが少ない現場でも使える AI”を追求している。

特徴・強み

◆ ビジネスモデルとその特徴

製造業・インフラ業を中心に現場 DX を実現する AI 製品・ソリューションを提供



外観検査 AI



現場支援 AI



生成 AI

設備管理 AI

当社では、以下の事業を展開している。

① 産業向け AI プロダクト (外観検査・現場支援)

外観検査 AI「HACARUSCheck シリーズ」、最新ソフトウェア「HACARUS Check ZERO」、食品パッケージ向け検査 AI、画像検知 AI「HACARUS Field Vision」など、現場課題を解決するプロダクトを提供。ロボット・カメラ・照明の構成設計から AI モデル開発、導入まで一貫支援する。

② AI 共同開発・データ活用コンサルティング

業務の課題に合わせて、画像解析・時系列解析・需要予測・異常検知・AI エージェントなど多様な AI ソリューションを共同開発するサービス。要件定義から PoC、実装・運用まで伴走する。

③ GenAI Consulting（特化型生成 AI 活用コンサルティング）

社内文書・ナレッジ・図面・画像を横断活用するための生成 AI（RAG）導入を支援。社内専用の AI アシスタント構築、マニュアル生成、FAQ 自動化、品質チェック支援など、業務効率化と知識活用の高度化を実現する。

◆ 強み・アピールポイント

HACARUS の強みは、現場で確実に動作する産業向け AI を自社開発し、外観検査や安全管理といった領域で実用レベルの精度と安定性を提供できる点にある。少量データでも運用できる軽量の AI モデルと、現場で扱いやすい UI/UX を備え、導入から運用まで一貫した支援が可能である。

また、AI とロボティクスを組み合わせた提案力も特徴であり、カメラ・照明・ロボットアームなどのハードと AI を統合したソリューション構築に強みを持つ。これにより、検査工程の自動化や安全性向上を、現場の制約に合わせて実現できる。

さらに、製造・建設・インフラといった現場領域での豊富な導入経験により、顧客の運用実態に寄り添った提案とサポートが可能である。セキュアなローカル環境やエッジ推論への対応力も高く、実運用に耐える信頼性が選ばれている。

将来展望

◆ 今後の事業展開

5 年後、10 年後の目標とする到達点やロールモデル

HACARUS は、5 年後には外観検査・安全管理・GenAI の各領域で国内トップクラスの実装力を持つ AI ソリューション企業としての地位をより強固なものにすることを目指している。外観検査では多品種少量生産への高適応性をさらに高め、食品や精密部品など品質管理が重要な産業での活用範囲を拡大する。また、安全管理領

域では工場や建設現場でのリアルタイム危険検知の精度向上を図り、事故防止に直結するソリューションの普及を推進していく。10 年後には、これらの技術を統合し、産業現場に特化した AI プラットフォーム企業として国際的に認知される存在となることを目標としている。

◆ 今後新たに開発したい商材・サービス、拡充したい販路（ターゲット層）

今後は、生成 AI を活用した業務支援ツールや、ロボティクスとの統合による自動化ソリューション、エッジ AI による現場リアルタイム処理技術の強化に注力する。展開分野としては、製造・建設・インフラ・食品・物流など、HACARUS の技術が高い価値を発揮できる領域に重点を置き、国内外のパートナーシップを通じて市場拡大を図る計画である。

PR 事項

◆ 提供サービスにおける PR 事項

HACARUS が提供するサービスの最大の特徴は、産業現場に確実に導入できる実装力と、課題に応じて最適な AI・ロボティクス構成を一貫して提案できる点にある。外観検査や安全管理、生成 AI 活用といった領域で実績を積み重ねており、導入後の運用性まで踏まえたプロダクト設計が高く評価されている。また、京都・東京・神戸の三拠点体制により、研究開発から現場支援までスピーディーに対応できることも強みであり、企業 DX 推進に寄り添うパートナーとして信頼を得ている。

会 社 概 要

設 立：2014 年 1 月

資 本 金：100,000 千円

従業員数：80 人（パートタイム含む）

U R L：<https://hacarus.com/ja/>

主力サービス開始時期：2014 年 1 月

